

みんなであるこう

タキタロウへの道

第2回朝日自然塾(※1)「みんなであるこうタキタロウ(※2)への道」は、鶴岡市立あさひ小学校の大鳥自然教室として、7月12日(木)に5年生児童33名、教職員3名、自然塾スタッフ12名の総勢48名で実施しました。

梅雨の合間の曇り空、児童達は元気いっぱい大鳥池を目指しました。途中、どしゃ降りの雨にも濡れながら、



結構怖い吊り橋渡り

岩場やぬかるみ、沢の中など足場の悪いいくつもの難所を、班ごとにお互いを励まし合いながら歩きました。

人里ではあまり見られない植物をスタッフの説明を聞きながら、驚きと共に観察していました。

最後の急斜面、七曲がり息を切らしながら登り切ると、そこには、伝説のタキタロウが棲むという大鳥池。その雄大さに驚きと歓声があがりました。

雲がかかり以東岳をはっきりと見ることはできませんでしたが、森林の働きやそこに住む動植物、山のルールなど、普段教室では学べないことを見聞きし、朝日山地の偉大さを知る一日となりました。

今回の自然塾では、出羽三山の自然を守る会、山形県山岳連盟、庄内森林管理署の方々にご協力いただきました。大変ありがとうございました。



元気いっぱいの開会式



みんなでそろって集合写真



少々お疲れ気味の閉会式

※1「朝日自然塾」: 東北森林管理局と朝日山地森林生態系保護地域の利用と保護管理に深く関わりをもつ各団体が協力し、朝日山地及び周辺地域において体験活動型森林環境教育を推進するため企画実践しています。

※2「タキタロウ」: 大鳥池に生息していると言われる体長2~3mの巨大魚。